

社長メッセージ

“ より多くのお客様に信頼され、そして最も選ばれる
資産運用会社となるべく、努力を続けてまいります ”



代表取締役社長
小松 幹太
Mikita Komatsu

2024年は、地政学的リスクの高まり、気候変動の影響拡大、生物多様性の喪失など、地球規模の課題が一層深刻化した年でした。このような複雑かつ急激に変化する環境下において、資産運用会社としての使命と責任の重要性を改めて痛感しています。

当社はGFANZ（グラスゴー金融同盟）が推進する脱炭素社会への資本移動や、TNFD（自然関連財務情報

新たな成長機会を切り拓く資本業務提携

当社は投資家の皆様からの信頼をさらに高めるべく、日々運用力や商品・サービスの向上に努めています。2024年5月には、かんぽ生命との資本業務提携を発表いたしました。この提携は、当社の成長戦略における重要な一歩であり、事業基盤の飛躍的な拡大を目指すものです。足元では、当社は過去最高の運用資産残高を記録し、事業環境は非常に良好です。しかし、さらなる成長を遂げるためには、運用の高度化を実現するための優秀な人材の獲得と定着が不可欠です。

今回の資本業務提携を機に、投資顧問ビジネスへの本格的な参入や、オルタナティブ分野での知見の拡

資産運用立国の実現に向け尽力

2024年は、新しいNISA制度の導入を契機に、資産運用への関心が一気に高まる年でもありました。こうした中で、当社は「資産運用普及センター」を新設いたしました。当センターは営業活動から独立した組織として「金融経済教育グループ」と「資産形成リサーチグループ」の2つのグループを擁しています。学校や職場での金融教育の推進を行うほか、投資家な

開示タスクフォース)による自然資本リスクの可視化といった、国際的な取り組みを積極的に支持し、これらを当社の投資プロセスに取り入れています。

昨今、一部の米国の州などで反ESGの風潮が注目されていますが、ESG投資は長期的な経済価値を創出する重要な手段であり、その意義は揺らぐものではないと考えています。

充を進めてまいります。一例として、太陽光発電や洋上風力発電など再生可能エネルギー分野を含むインパクト投資を視野に入れ、持続可能な社会と地球環境の実現に向けた取り組みを推進していきます。

これらの新たなビジネスへの取り組みは、社員一人ひとりが成長を実感できる環境づくりにもつながり、運用力の深化と優秀な人材の定着に資すると確信しています。

当社は投資家の利益を最優先に据え、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、受託者責任を着実に果たしてまいります。

らびに日本の家計の資産形成の動向を、マクロ視点で分析する、シンクタンク的な役割を担います。また、毎年度末には「資産形成白書」を発行する予定です。

これらの活動を通じ、資産運用の重要性を社会に広めるとともに、人々の豊かな暮らしに貢献し、「資産運用立国」の早期実現に向けて社を挙げて尽力してまいります。



All Challenges for ESG Investment

代表取締役社長

小松幹太